

Mansfield-PhRMA Translational Research Symposium

Learn from the past and challenge the future

「マンスフィールドーPhRMA研究者プログラム」は、PhRMAが実施している創薬分野の若手研究者の人材育成支援プログラムの一つです。本シンポジウムは、産官学の立場で活躍するこれまでのスカラーが、米国研修で学んだ経験を活かした現在の取組や、研究者プログラムに参加して見えた日本のトランスレーショナル・リサーチに関する課題点などについて発表し、様々な視点からディスカッションすることで、人材交流を促し、研究意欲のさらなる向上、ひいては創薬分野で世界的に活躍できる人材を育成することを目的としています。

日時 2020年12月20日(日) 14:00~17:00

会場 ZOOMウェビナー

申込 締切:12月14日(月) ※詳細・参加申込みはホームページをご覧ください
<http://yss.umin.jp/>

参加費無料

事前申込制



プログラム

- 14:00~ ● 開会挨拶・研究者プログラムの紹介
- ベンジャミン・セルフ モーリーン & マイク・マンスフィールド財団 副理事長
 - モデレーター：大脇 健二 PhRMA Translational Research Subcommittee 代表
(日本イーライリリー株式会社 研究開発本部 糖尿病領域 専門部長)
- 14:10~ ● 第1部 基調講演
- 講演 1 ● 「米国の創薬エコシステムを視察して」 録画動画を配信
- 大熊 ひとみ 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 医員
- 講演 2 ● 「プログラム参加者への期待と産学交流の活性化」 録画動画を配信
- 中村 健一 国立がん研究センター中央病院 国際開発部門長
- 講演 3 ● 「Vision, Network & Change- マンスフィールドーPhRMA研究者プログラムから学んだこと」 LIVEでWEB配信
- 勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授
- 15:45~ ● 第2部 パネルディスカッション LIVEでWEB配信
- テーマ ● マンスフィールドで学んできたこと、日米のギャップ
- これからの若手研究者教育に必要なコンテンツ
 - 人材交流の活性化(オンラインでの交流・人材育成の可能性、アカデミア・企業間での人材交流)
- モデレーター：勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授
- パネリスト：大熊 ひとみ 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 医員
- 中村 健一 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部長
- 石橋 太郎 PhRMA Science & Regulatory Leadership委員会 委員長
(ファイザーR&D合同会社 社長)
- 16:55~ ● 閉会挨拶
- 石橋 太郎 PhRMA Science & Regulatory Leadership委員会 委員長
(ファイザーR&D合同会社 社長)

お問い合わせ先：Mansfield-PhRMA Translational Research Symposium事務局(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)
MAIL:yss@jc-inc.co.jp

主催：米国研究製薬工業協会(PhRMA)。モーリーン&マイク・マンスフィールド財団

後援(予定)：厚生労働省、文部科学省、経済産業省、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

日本製薬工業協会(JPMA) 欧州製薬団体連合会(EFPIA)、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)